

2025 年度

授業科目名		外国語会話Ⅱ													
学科・コース		国際コミュニケーション科／ランゲージコース													
担当教員		金 小賢													
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位			
演習		・講義		2		通年		必修		30		1			
授業目的 到達目標		中国語の基礎表現を固め、多様な会話パターンを運用できることを目指す。実践力ある会話述を磨き、自分の言葉で自分の発想を表現する力を身に付ける。HSK中国語検定を視野に語彙と基本文型を増やし、聴解力を高める。													
授業手法		・対面		○		・遠隔				・対面/遠隔			・オンデマンド		
アクティブ ラーニング	事前学習型授業				反転授業				調査授業				フィールドワーク		
	双方向アンケート				ペアワーク		○		グループワーク		○		ロールプレイ		○
	プレゼンテーション		○		PBL				模擬授業				その他		
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略								わかる目標・できる目標					
	1～3	学習法の紹介・HSK中国語検定の仕組みを紹介する								① 発音のイントネーションがわかる ② 聴くポイントがわかる ③ 自分の言葉で自分の気持ちを表現 ④ 言葉の抑揚が分かる ⑤ 話す自信が着く ⑥ 間違い易い話し方がわかる ⑦ オリジナル会話文が創れる ⑧ 単語の多様性が理解できる ⑨ 人に教える立場で話せる ⑩ スマホを活かしての独学法がわかる					
	4～6	「感謝」の会話パターン / 相手に共感する相槌用語													
	7～9	相手に共感する相槌用語 / 依頼の表現													
	10～12	依頼の表現 / オリジナル文でロールプレー													
	13～15	相手に提案する表現 / 話し方の訓練													
	16～18	社会的実務会話例 / 話し方の訓練													
	19～22	グループワーク 表現力を高める													
	23～24	前期定期評価													
	25～28	日本の自然について語り合う/ 長文の朗読訓練 (1)													
	29～30	静岡の自然について語り合う/長文の朗読訓練 (2)													
成績評価方法	定期試験５０％、課題提出２０％、小テスト２０％、授業参加モチベーション１０％														
使用テキスト ／教材	中国語表現ハンドブック 榎本英雄著 同学社														
関連科目	外国語会話Ⅰ														
その他	毎日一句スマートフォンで中国語を書き写す / ※実務経験のある教員が担当する科目である。														

2025 年度

授業科目名	TOEIC SW II												
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース												
担当教員	Anthony Cook												
授業形態(主)	授業形態	履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位			
演習	・講義	2		通年		必修		60		2			
授業目的 到達目標	This course is designed to provide an introduction to the various types of career in which English is used. Each unit will focus on the types of phrases and vocabulary used as well as useful information about the specific responsibilities of each line of work.												
授業手法	・対面	○		・遠隔			・対面/遠隔			・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業			反転授業			調査授業			フィールドワーク			
	双方向アンケート			ペアワーク		○	グループワーク		○	ロールプレイ		○	
	プレゼンテーション			PBL			模擬授業			その他			
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略						わかる目標・できる目標					
	1～4	Unit 1: Schedules & Advertisements I						① テストの形式を理解する ② テスト内容を理解する ③ 試験時間を理解する ④ 採点基準を理解する ⑤ 発音の改善 ⑥ イントネーションの改善 ⑦ 流暢さの向上 ⑧ フォーマルなフレーズ					
	5～8	Unit 2: Express an Opinion I											
	9～12	Unit 3: Schedules & Advertisements II											
	13～16	Unit 4: Express an Opinion II											
	17～20	Unit 5: Respond to Questions I											
	21～24	Unit 6: Respond to Questions II											
	25～28	Unit 7: Practice Test 1											
	29～32	Unit 8: Read a Text Aloud I											
	33～36	Unit 9: Describe a Photograph 1											
	37～40	Unit 10: Practice Test 2											
	41～44	Unit 11: Schedules & Advertisements III											
	45～48	Unit 12: Express an Opinion III											
	49～52	Unit 13: Practice Test 3											
	53～56	Unit 14: Practice Test 4											
57～60	Unit 15: Practice Test 5												
成績評価方法	Effort & Participation 25%, Paper Test 75%												
使用テキスト ／教材	Materials related to each career, will be distributed at the beginning of each class.												
関連科目	TOEIC SW I												
その他	This class is conducted in English. ※実務経験のある教員が担当する科目である。												

2025 年度

授業科目名		Communicative English II															
学科・コース		国際コミュニケーション科／ランゲージコース															
担当教員		Anthony Cook															
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位					
実技		・講義		2		通年		必修		30		1					
授業目的 到達目標		Students learn about a different country each lesson. They will learn and discuss the history, food, culture, tourist spots, and language of the country. This class is conducted in English.															
授業手法		・対面		○		・遠隔				・対面/遠隔				・オンデマンド			
アクティブ ラーニング		事前学習型授業				反転授業				調査授業				フィールドワーク			
		双方向アンケート		○		ペアワーク		○		グループワーク		○		ロールプレイ		○	
		プレゼンテーション				PBL				模擬授業				その他			
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略								わかる目標・できる目標							
	1～2	Iceland & The Philippines								① 外国の歴史的事実を学ぶ ② 外国語で自己紹介ができる ③ 海外の観光スポットを知ることができる ④ 外国の食文化を学ぶ ⑤ 外国についての意見を書くことができる ⑥ 文化的認識を深める							
	3～4	Denmark & Jamaica															
	5～6	New Zealand & Peru															
	7～8	Canada & Italy															
	9～10	Poland & Thailand															
	11～12	Spain & Hawaii															
	13～14	Malaysia & Argentina															
	15～16	Sweden & South Korea															
	17～18	Malta & Hong Kong															
	19～20	France & Australia															
	21～22	Portugal & Germany															
	23～24	Brazil & UK															
	25～26	Holland & Mexico															
27～28	China & New Zealand																
29～30	Norway & India																
成績評価方法		Attendance 25%, Effort & Participation 25%, Written Reports 50%															
使用テキスト ／教材		Materials related to each country will be distributed at the beginning of the lesson.															
関連科目		Communicative English I															
その他		Students are required to bring their PC to class. This class is conducted in English. ※実務経験のある教員が担当する科目である。															

2025 年度

授業科目名		ビジネス英語検定Ⅱ															
学科・コース		国際コミュニケーション科／ランゲージコース															
担当教員		杉山 和代															
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位					
講義				2		前期		必修		30		2					
授業目的 到達目標		貿易、経済、金融に関する知識、及び貿易書類の読み方や英文契約書の内容読解を習得する。															
授業手法		・対面		○		・遠隔				・対面/遠隔				・オンデマンド			
アクティブ ラーニング		事前学習型授業				反転授業				調査授業				フィールドワーク			
		双方向アンケート				ペアワーク				グループワーク				ロールプレイ			
		プレゼンテーション				PBL				模擬授業				その他			
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略								わかる目標・できる目標							
	1～6	以下の書類の内容理解								① 難易度の高い英文が読める ② 貿易書類が読める ③ 英文契約書が読める ④ 市場経済の知識を得る ⑤ 信用状取引について理解できる							
		・信用状															
		・為替手形															
		・船荷証券															
		・原産地証明書															
		・海上保険証券															
		・商業送り状															
	7～12	社内文書（英語）の内容理解															
	13～14	為替リスクの回避															
	15～16	さまざまな貿易取引															
	17～18	国際マーケティング															
	19～20	法制度や貿易の自由化の歴史と現在															
	21～22	国内総生産や価値について															
	23～24	クレームと仲裁															
25～30	英文契約書の内容理解																
成績評価方法		期末試験（100％）															
使用テキスト ／教材		講師制作のプリント、その他															
関連科目		ビジネス英語検定Ⅰ															
その他																	

2025 年度

授業科目名		Drama English															
学科・コース		国際コミュニケーション科／ランゲージコース															
担当教員		Anthony Cook															
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位					
実技		・ 演習		2		後期		必修		30		1					
授業目的 到達目標		Drama English is designed to expose students to a variety of authentic media content. In doing so, students will learn useful phrases and vocabulary, as well as an understanding of foreign culture, current events, and global issues.															
授業手法		・ 対面		○		・ 遠隔				・ 対面/遠隔		○		・ オンデマンド			
アクティブ ラーニング		事前学習型授業				反転授業				調査授業				フィールドワーク			
		双方向アンケート		○		ペアワーク		○		グループワーク		○		ロールプレイ		○	
		プレゼンテーション				PBL				模擬授業				その他			
授業 内容・ 授業 計画	時間数		内容概略								わかる目標・できる目標						
	1～2		Unit 1: American Situation Comedy I								① ネイティブの英語に触れる ② スラングの知識 ③ 語彙の増加 ④ 聴解力の向上 ⑤ 発音の改善 ⑥ コメディの理解 ⑦ 社会的トピックの理解 ⑧ メディアトレンドの理解						
	3～4		Unit 2: American Situation Comedy Ireams														
	5～6		Unit 3: American Situation Comedy III														
	7～8		Unit 4: American Situation Comedy IV														
	9～10		Unit 5: Documentary I														
	11～12		Unit 6: Documentary II														
	13～14		Unit 7: Documentary III														
	15～16		Unit 8: Movie Scene I														
	17～18		Unit 9: Movie Scene II														
	19～20		Unit 10: Celebrity Interviews I														
	21～22		Unit 11: Celebrity Interviews II														
	23～24		Unit 12: TV Scene 1														
	25～26		Unit 13: Speeches I														
	27～28		Unit 14: Youtube Skits I														
29～30		Unit 15: Music Videos I															
成績評価方法		Effort & Participation 25%, Paper Test 75%															
使用テキスト ／教材		Class materials will be distributed at the start of each class.															
関連科目																	
その他		This class is conducted in English. You may require your PC sometimes. ※実務経験のある教員が担当する科目である。															

2025 年度

授業科目名		比較文化研究Ⅱ																
学科・コース		国際コミュニケーション科/ランゲージコース																
担当教員		関根 由美子																
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位						
演習		・講義		2		通年		必修		30		1						
授業目的 到達目標		異文化理解と異文化コミュニケーションの座学とグループワークや調査、プレゼン発表を通して、プレゼン発表能力を高めると同時に、様々な人々と協調し、異文化に対し順応出来る力を身に付ける																
授業手法		・対面		○		・遠隔				・対面/遠隔				・オンデマンド				
アクティブ ラーニング		事前学習型授業				反転授業				調査授業		○		フィールドワーク				
		双方向アンケート				ペアワーク		○		グループワーク		○		ロールプレイ		○		
		プレゼンテーション		○		PBL				模擬授業				その他				
授業 内容・ 授業 計画	時間数		内容概略								わかる目標・できる目標							
	1～2		授業説明・異文化理解への態度（ケーススタディ）								① 日本の常識にとらわれない素地を作る ② 世界の文化・習慣・マナーなどを知る ③ 誤解されやすい文化をロールプレイングを通して体験し理解を深める ④ 海外との違いを知る ⑤ 世界の褒め方・叱り方・謝り方を知りプレゼン発表出来る ⑥ 外国籍の方から直接その国の文化・風習などを聴講し、理解を深める ⑦ コンテキスト・異文化コミュニケーション・パラ言語を理解する ⑧ 世界の非言語コミュニケーションを知る ⑨ 世界の言語コミュニケーション・非言語コミュニケーションについてプレゼン発表が出来る							
	3～8		世界の文化・習慣・マナー・食文化のプレゼン															
	9～10		見える文化と見えない文化（見えない文化ロープレ&疑似体験）															
	11		コンテキスト・パラ言語															
	12		異文化コミュニケーション・自己開示															
	13～14		言語コミュニケーション（世界のほめ方・プレゼン作成）															
	15～16		言語コミュニケーション（世界の叱り方・プレゼン作成）															
	17～18		言語コミュニケーション（世界の謝り方・プレゼン作成）															
	19～20		非言語コミュニケーション（アイコンタクト・プレゼン作成）															
	21～22		出前教室①															
	23～24		非言語コミュニケーション（ジェスチャー・プレゼン作成）															
	25～26		出前教室②															
	27～28		非言語コミュニケーション（時間の感覚・プレゼン作成）															
29～30		世界の言語コミュニケーション・非言語コミュニケーションについてプレゼン発表																
成績評価方法		プレゼン発表（40%）・試験（30%） 小テスト・提出物（20%）授業態度・出欠席（10%）																
使用テキスト／教材		異文化コミュニケーション（三修社）・講師作成プリント																
関連科目		比較文化研究Ⅰ																
その他		各自毎時間PCを持参する																

シラバス（授業概要） 2025 年度

シラバス（授業概要） 2025 年度

授業科目名		English Reading															
学科・コース		国際コミュニケーション科／ランゲージコース															
担当教員		Anthony Cook															
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位					
実技				2		後期		必修		30		1					
授業目的 到達目標		Students learn about a different country each lesson. They will learn and discuss the history, food, culture, tourist spots, and language of the country. This class is conducted in English.															
授業手法		・対面		○		・遠隔				・対面/遠隔		○		・オンデマンド			
アクティブ ラーニング		事前学習型授業				反転授業				調査授業				フィールドワーク			
		双方向アンケート				ペアワーク				グループワーク		○		ロールプレイ			
		プレゼンテーション				PBL				模擬授業				その他			
授業 内容・ 授業 計画	時間数		内容概略								わかる目標・できる目標						
	1～2		Introduction to Graded Reading								① 読書スピードの向上。 ② 英語のボキャブラリーを増やす。 ③ 有名人の伝記を学ぶ。 ④ 内容を文章にまとめる ⑤ 物語の重要な要素を再話する。 ⑥ 文化的認識を深める。						
	3～4		Book Selection 1 / Written Appraisal														
	5～6		Book Selection 2 / Written Appraisal														
	7～8		Book Selection 1 & 2 Discussion														
	9～10		Audio Book Selection 1 / Written Appraisal														
	11～12		Audio Book Selection 2 / Written Appraisal														
	13～14		Audio Book Selection 1 & 2 Discussion														
	15～16		Book Selection 3 / Written Appraisal														
	17～18		Book Selection 4 / Written Appraisal														
	19～20		Book Selection 3 & 4 Discussion														
	21～22		Video Book Selection 1 /Written Appraisal														
	23～24		Video Book Selection 2 /Written Appraisal														
	25～26		Video Book Selection 1 & 2 Discussion														
	27～28		Review Lesson 1														
	29～30		Review Lesson 2														
成績評価方法		Attendance 25%, Effort & Participation 55%, Book Appraisals 50%															
使用テキスト ／教材		Students will select content from a wide variety of graded readers.															
関連科目																	
その他		Students are required to sometimes bring their PC to class. This class is conducted in English. ※実務経験のある教員が担当する科目である。															

2025 年度

授業科目名	Vocational English II												
学科・コース	国際コミュニケーション科／ランゲージコース												
担当教員	Anthony Cook												
授業形態(主)	授業形態	履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位			
演習	・講義	2		前期		必修		30		1			
授業目的 到達目標	This course is designed to provide an introduction to the various types of career in which English is used. Each unit will focus on the types of phrases and vocabulary used as well as useful information about the specific responsibilities of each line of work.												
授業手法	・対面	○		・遠隔			・対面/遠隔			・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業			反転授業			調査授業			フィールドワーク			
	双方向アンケート		○	ペアワーク		○	グループワーク		○	ロールプレイ		○	
	プレゼンテーション			PBL			模擬授業			その他			
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略						わかる目標・できる目標					
	1～2	Self-Introduction in English						10項目程度					
	3～4	Self-Introduction in English II						① 英語で自己紹介ができる					
	5～6	Interview Questions about Self						② 面接での質問を理解する能力					
	7～8	Interview Questions about locality						③ 面接の質問に答える能力					
	9～10	Interview Questions about Education I						④ 英文履歴書の作成能力					
	11～12	Interview Questions about Education II						⑤ 英文カバーレターを書く能力					
	13～14	Interview Questions about Work I											
	15～16	Interview Questions about Work II											
	17～18	Interview Questions about Service											
	19～20	Interview Questions about Scenarios											
	21～22	Writing an English language resume I											
	23～24	Writing an English language cover letter											
	25～26	Review Lesson 1											
	27～28	Review Lesson 2 2											
29～30	Review Lesson 3												
成績評価方法	Effort & Participation 25%, Paper Test 75%												
使用テキスト ／教材	Materials related to each career, will be distributed at the beginning of each class.												
関連科目	Vocational English I												
その他	This class is conducted in English. ※実務経験のある教員が担当する科目である。												

シラバス（授業概要）
2025 年度

シラバス（授業概要）
2025 年度

授業科目名		I C Tプレゼンテーション																
学科・コース		国際コミュニケーション科／ランゲージコース																
担当教員		杉山 和代・山梨 千恵子																
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位						
演習		・講義		2		後期		必修		30		1						
授業目的 到達目標		ICTツールを利用して必要な情報収集・分析ができる力を身に付け、それらをもとにプレゼンテーションを構成し効果的に発表できる力を磨く。																
授業手法		・対面		○		・遠隔				・対面/遠隔				・オンデマンド				
アクティブ ラーニング	事前学習型授業						反転授業						調査授業		○		フィールドワーク	
	双方向アンケート						ペアワーク						グループワーク		○		ロールプレイ	
	プレゼンテーション		○				PBL		○				模擬授業				その他	
授業内容・ 授業計画	時間数		内容概略										わかる目標・できる目標					
	1-2		プレゼンテーションの基礎										① プレゼンテーションを作成できる ② トピックに対する情報収集・評価ができる ③ プレゼンテーションを行うことができる ④ 効果的なプレゼンテーションを作成できる ⑤ トピックに対する情報収集・評価・分析ができ、論じることができる ⑥ 効果的なプレゼンテーションを行うことができる					
	3-4		トピックへのイントロダクション															
	5-12		リサーチ・資料作成・分析、パワーポイント作成															
	13-16		プレゼンテーション①															
	17-18		①のフィードバックとプレゼンテーション応用															
	19-26		リサーチ・資料作成・分析、パワーポイント作成															
	27-30		プレゼンテーション②															
成績評価方法		プレゼンテーション（60％）、トピックに対する理解（20％）、出席率・授業態度（20％）																
使用テキスト／教材		必要な資料は回ごとに講師が配布																
関連科目																		
その他		毎回PCを持参してください。																